



令和2年9月30日

報道関係各位

～江戸時代に花開いた美術工芸品としての日本刀約30振を展示～
福生市制施行50周年記念 郷土資料室企画展示
あかばねとう
「江戸の日本刀-赤羽刀譲与20年-」

福生市郷土資料室では、市制施行50周年を記念し、10月3日（土）～11月29日（日）の期間で、企画展示「江戸の日本刀-赤羽刀譲与20年-」を開催します。

平成11年に文化庁から譲与された赤羽刀の中から、研磨が終了した江戸時代の刀剣類約30振を展示します。

■赤羽刀と福生市郷土資料室の関わり

第二次世界大戦後、連合軍総司令部(GHQ)は、日本軍の武装解除の一環として民間が所有する日本刀の接收を行いました。接收された刀剣類のうち、廃棄を免れた一部が米第八軍赤羽兵器補給廠ほくゆうしやうに保管され、後に日本側に返却されました。この経緯から日本側に返却された接收刀剣類を、その地名を取って「赤羽刀」と呼びます。

平成11年12月、福生市郷土資料室は文化庁から赤羽刀97振を譲与され、これまで活用に向けて研磨を行い、研磨が完了したものについては、郷土資料室における特別展示や企画展示などの機会に活用してきました。

■武器から美術工芸品へ-日本刀の価値観の変化-

江戸時代に入ると、戦いが無い太平の世の中で、日本刀は武器だけではなく美術工芸品としての性格も強めました。より華やかで豪快な波紋が好まれるようになるなど、新しい日本刀に対する価値観が生まれることとなります。

本企画展示では、こうした江戸時代の日本刀の特徴をよく表す「大和守安定」やまとのかみやすさだをはじめ、約30振を展示します。

■企画展示概要

【期間】10月3日（土）～11月29日（日）午前10時～午後5時（月曜休館日※月曜日が祝日の場合は翌平日休館日）

【場所】福生市郷土資料室



脇差 銘：かわかみきこんだいじょうふじわらこれかず河上 左近大掾 藤原 是一

【問合せ】生涯学習推進課文化財係（福生市郷土資料室）☎042-530-1120